

令和6年能登半島地震

被災者・被災地支援活動の取り組み

-企業人ボランティア派遣、うるうるパック、物品寄付仲介-

2024年6月10日

一般社団法人 日本経済団体連合会

I. 企業人ボランティアの派遣

「災害ボランティアセンターを支えるボランティアプログラム」

◎ 概要

- ◆ 能登半島地震被災者の生活再建に向けて、GW期間には多くのボランティアによる活動が期待されているなか、その核となる**災害ボランティアセンターの人材不足が大きな課題**
- ◆ 「災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）」(※)は、企業人ボランティアをGW期間中に被災地に派遣すべく、「**災害ボランティアセンターを支えるボランティアプログラム**」を実施
- ◆ 経団連は支援Pの幹事団体として、会員企業社員の皆様へのご案内・ご参加呼びかけ等に協力

※企業、NPO、社会福祉協議会、共同基金会等が協働し、被災地及び被災者主体のボランティア活動を支援する組織。大規模災害では被災地に運営支援者を派遣。

< 「災害ボランティアセンターを支えるボランティアプログラム」の概要 >

主催	災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）	
活動期間/ 参加人数	第1クール : 4/25 (木) -4/28 (日) 【3泊4日】 第2クール : 4/27 (土) -5/1 (水) 【4泊5日】 第3クール : 4/30 (火) -5/4 (土) 【4泊5日】 第4クール : 5/3 (金) -5/6 (月) 【3泊4日】	各クール:約15名 (総勢21社・団体*から 約60名参加)
活動場所	珠洲市、七尾市の災害ボランティアセンター	
活動の特色	① 災害ボランティアセンターの運営サポート 業務を実施 (例: 資機材管理、ボランティア受付、現地調査同行等) ②GW期間中、約15名/クールの企業人ボランティアが バトンリレー方式 で活動	

*参加企業・団体: MHI NUSEC、MHI パーソネル、MHI ファシリティサービス、エリクソン・ジャパン、小野薬品工業、カシオ計算機、キヤノン、第一三共、第一三共ヘルスケア、高島屋、田辺三菱製薬、電通、電通コーポレートワン、東京海上日動火災保険、日本経済団体連合会、パナソニック、富士通ボッシュ、三井住友銀行、三菱重工エンジン&ターボチャージャ、三菱重工業

ボランティアプログラム 活動の様相

【オリエンテーション・引継ぎ】



ボランティアセンターに到着後、センター関係者から現地状況や活動概要について説明を聴取。



前クールの企業人ボランティアから具体的な活動内容を引継ぎ

【ボランティアセンター運営支援】



ボランティア登録者に対し、活動案件の割り振りや具体的な案件を説明



ボランティア登録者に対し、ヘルメットやゴーグル等資材の貸出・返却の対応



活動先から搬出された廃棄物の分別作業を管理（解体・分別作業に加え作業場の設営、準備、廃棄物の分別判断等）



災害ボランティア車両の高速道路無料化措置に必要な書類発行、各種マニュアル作成

【参加者からの感想】

- ボランティアでイメージするような力仕事には自信がなかったが、ボランティアセンターの運営支援という形で復興に関わると聞いて参加申込した。このような貴重な機会をありがたく思う。
- 一緒に参加した皆さんが真摯に物事に当たる方々で、大変勉強になった。ふるさと納税など、これからも応援できることはまだまだあるように思える。
- ボランティアセンターの運営では、状況に応じた柔軟かつ臨機応変な対応が求められると感じた。

Ⅱ. 「うるうるパック」の作成・お届け

1. うるうるパックとは

- ◆ 「うるうるパック」とは、被災地域の方々が必要とする物資を、被災地外で小分けに詰めたくて、被災者の方々に届ける救援物資 ※東日本大震災や熊本地震の際にも実施
- ◆ 経団連1%クラブは「災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）」と連携し、令和6年能登半島地震の支援活動の一環として、①被災地（輪島市、珠洲市、能登町、穴水町、志賀町）の小学生（27校・約2,000人）への「学用品うるうるパック」のお届けおよび②仮設住宅入居者への「日用品基本パック」のお届けを企画
- ◆ 以降は、①についての説明
- ◆ ②については、6月中目途に支援P等の主導によりお届け予定



2. 会員企業への協力依頼（2024年4月11日～22日）

(1) 物品・資金の提供

- 文房具類（ノート、ボールペン等）の提供
- パック作成に必要な物品購入や現地配送費用等の支援

(2) 袋詰め・梱包作業 ボランティア

- 5月14日（火）12-14時、17時30分-19時30分の2部制（於：経団連会館）

(3) 応援メッセージカード 記入ボランティア

- うるうるパックに添付する、小学生への応援メッセージカードへの記入

3. 協力企業一覧（計37社）

アズビル／NECグループ／MS&ADインシュアランスグループ／キヤノン／協和キリン／キンドリルジャパン／コクヨ／清水建設／住友化学／住友金属鉱山／ソフトバンク／損害保険ジャパン／SOMPOホールディングス／第一三共／中外製薬／dentsu Japan／東洋建設／トヨタ自動車／中日本高速道路／ナブテスコ／日清製粉グループ本社／日本アイ・ビー・エム／日本生命保険／日本たばこ産業／野村ホールディングス／パイロットコーポレーション／パナソニックホールディングス／BTジャパン／BNPパリバ／ボッシュ／みずほフィナンシャルグループ／三井住友銀行／三井住友海上プライマリー生命保険／三菱鉛筆／三菱重工業／三菱電機／ヤマト運輸

4. 会員企業による協力

(1) 物品・資金提供 (約2,000パック作成)

- 文房具 (クリアファイル、ノート、付箋、ボールペン、消しゴム等) **計15種類**
- 物品購入・配送に必要な資金



(2) 袋詰め・梱包作業ボランティア

- 5月14日に作業実施(於：経団連会館)
- 29社と経団連事務局から、**約230名**が従事



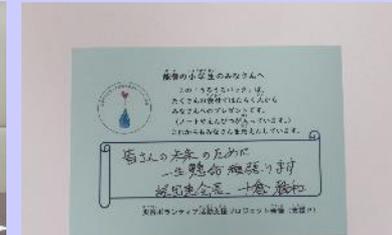
(3) 応援メッセージカード記入ボランティア

- 11社と経団連事務局のボランティアが
約2,000枚の応援メッセージカードを手書きで記入

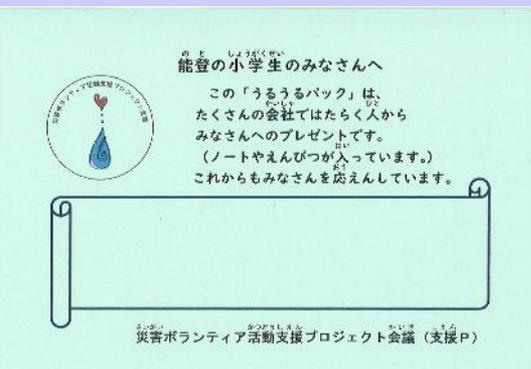
メッセージカード



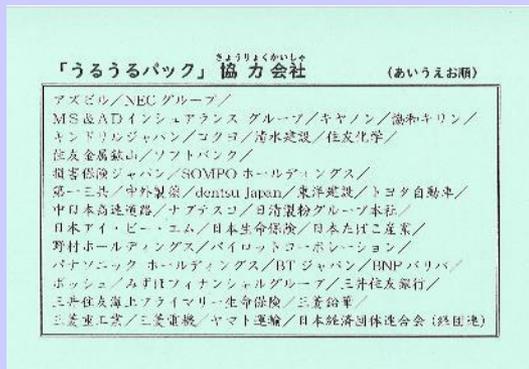
十倉会長



十倉会長の
メッセージカード



表面



裏面
(協力企業一覧を掲載)



中山 企業行動・SDGs委員長
(第一三共常勤顧問)



西澤 企業行動・SDGs委員長
(損害保険ジャパン顧問)

5. 被災地小学校へのお届け

- ◆ 5月21日に、経団連1%クラブの福田里香座長（パナソニック ホールディングス企業市民活動担当室アドバイザー）が被災地（輪島市、珠洲市、能登町、志賀町）の小学校計4校を訪問し、うるうるパックを生徒代表に直接お渡し
- ◆ その他の23の小学校には5月22日に配送によりお届け

志賀町 志賀小学校

生徒の声：「あっ、これかわいい！」「うれしい！」「自慢しよう！」



輪島市 門前東小学校

生徒の声：「普段すぐには買えないものもあり、こうやってもらえるとうごくうれしいです。大切に使います。ありがとうございました。」



能登町 ^{うしつ}宇出津小学校

生徒の声：「ありがとうございます！」



珠洲市 ^{ただ}直小学校

生徒の声：「珠洲市も少しずつ復旧に向けて頑張っています。僕たちもいただいた文房具で勉強をもっと頑張ります。本当にありがとうございました。」



能登町 松波小学校（配送によるお届け）

校長先生からのお礼（Eメール）：「今回、皆様方からいただいたご支援は、大変ありがたく、子どもたちの明るく前向きな気持ちにつながっていると思っております。たくさんのご支援、本当にありがとうございました。」

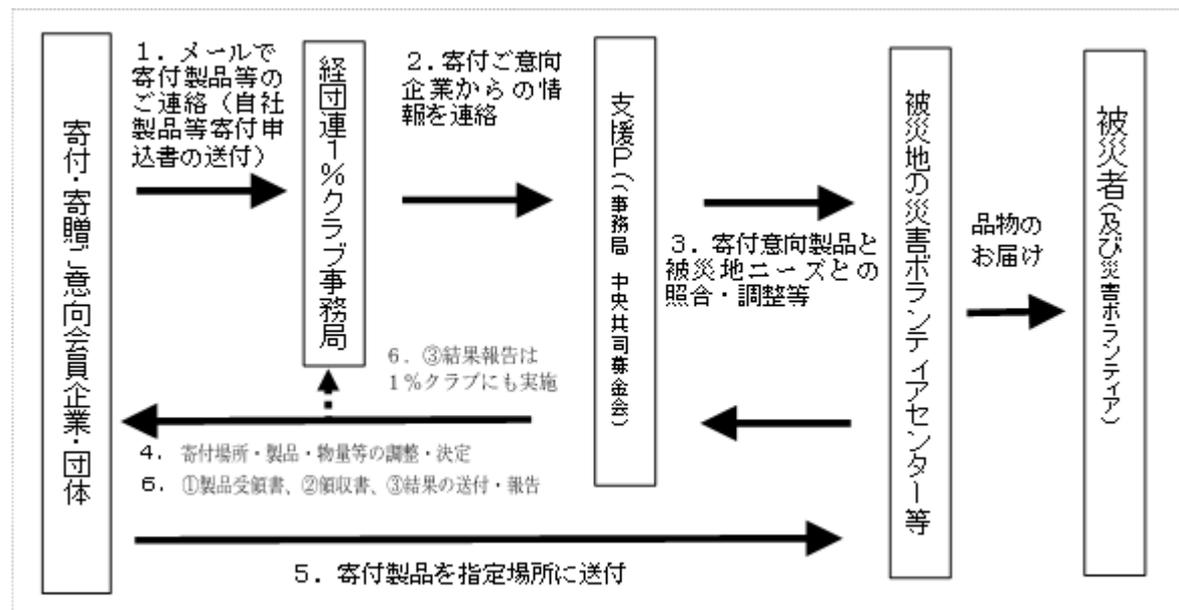
Ⅲ. 会員企業・団体からの自社製品の寄付・寄贈の仲介

◎ 概要

- ◆ 「災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）」の協力を得て、経団連会員企業（グループ企業含む）・団体が提供する自社製品等の支援物資の被災地受け入れスキームを構築
- ◆ 2024年1月～4月にわたって現地ニーズとマッチングした結果、輪島市、能登町社会福祉協議会、珠洲市災害ボランティアセンターへ、12社15種類の物資のお届けを仲介

◆受入スキーム

企業から寄付の意向が示された物資情報を集約し、支援P関係者を通じて現地ニーズと突合。
マッチングされた品目は企業から直接現地に配送。



◆マッチングが成立し、既に現地に配送した案件（公表可の企業名のみ記載）

I-ne（シャンプー・リンス等）、エフピコ（簡易容器等）、シキボウ（フェイスタオル等）、タチエス（マットレス）、田中食品（ふりかけ）、ツムラ（飲料水等）、日清オイリオグループ（高齢者介護食品）、日本ハム（レトルトカレー）、野村ホールディングス（タオル等）、ナブテスコ（飲料水）、三菱重工業（発電機）、三菱製紙（トイレットペーパー）